

| タイトル(書名) | <p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091<br/>(新共同訳)<br/>[検索語彙：ヘブライ人]</p> <p>章：節 聖句 [検索対象総数：32 / 聖句等の総数 33250 (ヘブライ人)32個]</p> |
|----------|---|
| K 創世記    | 14:13 逃げ延びた一人の男がヘブライ人アブラムのもとに来て、そのことを知らせた。アブラムは当時、アモリ人マムレの櫟の木の傍らに住んでいた。マムレはエシュコルとアネルの兄弟で、彼らはアブラムと同盟を結んでいた。                                |
| K 創世記    | 39:14 彼女は家の者たちを呼び寄せて言った。「見てごらん。ヘブライ人などをわたしたちの所に連れて来たから、わたしたちはいたずらをされる。彼がわたしの所に来て、わたしと寝ようとしたから、大声で叫びました。」                                  |
| K 創世記    | 39:17 そして、主人に同じことを語った。「あなたがわたしたちの所に連れて来た、あのヘブライ人の奴隷はわたしの所に来て、いたずらをしようとしたのです。」   |
| K 創世記    | 40:15 わたしはヘブライ人の国から無理やり連れて来られたのです。また、ここでも、牢屋に入れられるようなことは何もしていないのです。」  |
| K 創世記    | 41:12 そこには、侍従長に仕えていたヘブライ人の若者がおりまして、彼に話をしたところ、わたしたちの夢を解き明かし、それぞれ、その夢に応じて解き明かしたのです。   |
| K 創世記    | 43:32 食事は、ヨセフにはヨセフの、兄弟たちには兄弟たちの、相伴するエジプト人にはエジプト人のものと、別々に用意された。当時、エジプト人は、ヘブライ人と共に食事をすることはできなかったからである。それはエジプト人のいうことであつた。                    |
| K 出エジプト記 | 1:15 エジプト王は二人のヘブライ人の助産婦に命じた。一人はシフラといい、もう一人はプアといった。  |
| K 出エジプト記 | 1:16 「お前たちがヘブライ人の女の出産を助けるときには、子供の性別を確かめ、男の子ならば殺し、女の子ならば生かしておけ。」   |
| K 出エジプト記 | 1:19 助産婦はファラオに答えた。「ヘブライ人の女はエジプト人の女性とは違います。彼女たちは丈夫で、助産婦が行く前に産んでしまうのです。」  |
| K 出エジプト記 | 2:6 開けてみると赤ん坊がおり、しかも男の子で、泣いていた。王女はふびんに思い、「これは、きっと、ヘブライ人の子です」と言った。   |
| K 出エジプト記 | 2:7 そのとき、その子の姉がファラオの王女に申し出た。「この子に乳を飲ませるヘブライ人の乳母を呼んで参りましょうか。」  |
| K 出エジプト記 | 2:11 モーセが成人したころのこと、彼は同胞のところへ出て行き、彼らが重労働に服しているのを見た。そして一人のエジプト人が、同胞であるヘブライ人の一人を打っているのを見た。   |
| K 出エジプト記 | 2:13 翌日、また出て行くと、今度はヘブライ人どうしが二人でけんかをしていた。モーセが、「どうして自分の仲間を殴るのか」と悪い方をたしなめると、   |
| K 出エジプト記 | 3:18 彼らはあなたの言葉に従うであろう。あなたはイスラエルの長老たちを伴い、エジプト王のもとに行き、彼に言いなさい。『ヘブライ人の神、主がわたしたちに出現されました。どうか、今、三日の道のりを荒れ野に行かせて、わたしたちの神、主に犠牲をささげさせてください。』      |
| K 出エジプト記 | 5:3 二人は言った。「ヘブライ人の神がわたしたちに出現されました。どうか、三日の道のりを荒れ野に行かせて、わたしたちの神、主に犠牲をささげさせてください。そうしないと、神はきっと疫病か剣でわたしたちを滅ぼされるでしょう。」                          |
| K 出エジプト記 | 7:16 彼に言いなさい。ヘブライ人の神、主がわたしをあなたのもとに遣わして、『わたしの民を去らせ、荒れ野でわたしに仕えさせよ』と命じられたのに、あなたは今に至るまで聞き入れない。  |
| K 出エジプト記 | 9:1 主はモーセに言われた。「ファラオのもとに行き、彼に告げなさい。ヘブライ人の神、主はこう言われた。『わたしの民を去らせ、わたしに仕えさせよ』と。」  |
| K 出エジプト記 | 9:13 主はモーセに言われた。「明朝早く起き、ファラオの前に立って、彼に言いなさい。ヘブライ人の神、主はこう言われた。『わたしの民を去らせ、わたしに仕えさせよ』。」   |
| K 出エジプト記 | 10:3 モーセとアロンはファラオのところに行き、彼に言った。「ヘブライ人の神、主はこう言われた。『いつまで、あなたはわたしの前に身を低くするのを拒むのか。わたしの民を去らせ、わたしに仕えさせなさい。』」                                    |
| K 出エジプト記 | 21:2 あなたがヘブライ人である奴隷を買うならば、彼は六年間奴隷として働かねばならないが、七年目には無償で自由の身となることができる。  |
| K 申命記    | 15:12 同胞のヘブライ人の男あるいは女が、あなたのもとに売られて来て、六年間奴隷として仕えたならば、七年目には自由の身としてあなたのもとを去らせねばならない。   |

| タイトル(書名) | <p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091<br/>(新共同訳)<br/>[検索語彙：ヘブライ人]</p> <p>章：節 聖句 [検索対象総数：32 / 聖句等の総数 33250 (ヘブライ人)32個]</p> |
|----------|---|
| K サムエル記上 | 4:6 ペリシテ軍は歓声を聞いて言った。「ヘブライ人の陣営にどよめくあの歓声は何だろう。」そして、主の箱がイスラエル軍の陣営に到着したと知ると、  |
| K サムエル記上 | 4:9 ペリシテ人よ、雄々しく男らしくあれ。さもなければ、ヘブライ人があなたたちに仕えていたように、あなたたちが彼らに仕えることになる。男らしく彼らと戦え。」   |
| K サムエル記上 | 13:3 ヨナタンは、ゲバに配置されていたペリシテの守備隊を打ち破った。ペリシテ人はそれを伝え聞いた。他方、サウルも国中に角笛を吹き鳴らして言った。「ヘブライ人よ、聞け。」  |
| K サムエル記上 | 13:7 ヨルダン川を渡り、ガドやギレアドの地に逃げ延びたヘブライ人もあった。しかし、サウルはギルガルに踏みとどまり、従う兵は皆、サウルの後ろでおのいていた。   |
| K サムエル記上 | 13:19 さて、イスラエルにはどこにも鍛冶屋がいなかった。ヘブライ人に剣や槍を作らせてはいけないとペリシテ人が考えたからである。   |
| K サムエル記上 | 14:11 こうして、二人はペリシテ軍の先陣に姿を見せた。ペリシテ人は言った。「あそこにヘブライ人がいるぞ。身を隠していた穴から出て来たのだ。」  |
| K サムエル記上 | 14:21 それまでペリシテ側につき、彼らと共に上って来て陣営に加わっていたヘブライ人も転じて、サウルやヨナタンにっいているイスラエル軍に加わった。  |
| K サムエル記上 | 29:3 ペリシテの武將たちは尋ねた。「このヘブライ人らは何者だ。」アキシュがペリシテの武將たちに答えた。「イスラエルの王サウルの僕であったダビデだ。彼はこの一、二年、わたしのもとにいるが、身を寄せて来たときから今日まで、わたしは彼に何の欠点も見いだせない。」        |
| K エレミヤ書  | 34:9 その契約は、ヘブライ人の男女の奴隷を自由の身として去らせ、また何人であれ同胞であるユダの人を奴隷とはしないことを定めたものである。  |
| K エレミヤ書  | 34:14 だれでも、同胞であるヘブライ人が身を売って六年間、あなたのために働いたなら、七年目には自由の身として、あなたのもとから去らせなければならない、と。ところが、お前たちの先祖はわたしに聞き従わず、耳を傾けようとしなかった。                       |
| K ヨナ書    | 1:9 ヨナは彼らに言った。「わたしはヘブライ人だ。海と陸とを創造された天の神、主を畏れる者だ。」   |

|   |             |   |  |
|---|-------------|---|--|
|   | タイトル(書名)    | 章:節 聖句 [検索対象総数: 2 / 聖句等の総数 33250 <ヘブライ人>3個]                                   | 聖書Navi Active 393128091<br>(新共同訳)<br>[検索語彙: ヘブライ人] |
| S | コリント信徒への手紙Ⅱ | 11:22 彼らはヘブライ人なのか。わたしもそうです。イスラエル人なのか。わたしもそうです。アブラハムの子孫なのか。わたしもそうです。           |  |
| S | フィリピの信徒への手紙 | 3:5 わたしは生まれて八日目に割礼を受け、イスラエルの民に属し、ベニヤミン族の出身で、ヘブライ人の中のヘブライ人です。律法に関してはファリサイ派の一員、 |  |

| タイトル(書名) | <p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091<br/>(新共同訳)<br/>[検索語彙：イスラエル人]</p> 章：節 聖句 [検索対象総数：85 / 聖句等の総数 33250 (イスラエル人)91個]   |
|----------|--|
| K 出エジプト記 | 1:9 国民に警告した。「イスラエル人という民は、今や、我々にとってあまりに数多く、強力になりすぎた。  |
| K 出エジプト記 | 14:5 民が逃亡したとの報告を受けると、エジプト王ファラオとその家臣は、民に対する考えを一変して言った。「ああ、我々は何ということをしたのだろう。イスラエル人を労役から解放して去らせてしまったとは。」                                  |
| K レビ記    | 24:10 イスラエルの人々の間に、イスラエル人を母とし、エジプト人を父に持つ男がいた。この男が宿営において、一人の生粋のイスラエル人と争った。   |
| K レビ記    | 24:11 イスラエル人を母に持つこの男が主の御名を口にして冒涇した。人々は彼をモーセのところに連行した。母の名はシェロミトといい、ダン族のディブリの娘であった。  |
| K 民数記    | 25:6 そのとき、モーセとイスラエルの人々の共同体全体が臨在の幕屋の入り口で嘆いているその目の前に、一人のイスラエル人がミディアン人の女を連れて同胞のもとに入って来た。  |
| K 民数記    | 25:8 そのイスラエル人の後を追って奥の部屋まで行き、この二人、すなわちイスラエル人とその女を共に突き刺した。槍は女の腹に達した。それによって、イスラエルを襲った災害は治まったが、  |
| K 民数記    | 25:14 ミディアン人の女と一緒に殺されたイスラエル人の名は、サルの子ヅムリといい、シメオン族のうちの家族の指導者であった。  |
| K 民数記    | 36:3 もしその娘たちが他の部族のイスラエル人のだれかと結婚するとしますと、娘たちの嗣業の土地はわたしたちの先祖の嗣業の土地から削られ、嫁いだ先の部族の嗣業の土地に加えられることになり、それは、くじによって割り当てられたわたしたちの嗣業の土地から削られてしまいます。 |
| K 申命記    | 18:1 レビ人である祭司、レビ族のすべての者には、イスラエル人と同じ嗣業の割り当てがない。彼らは、燃やして主にささげる献げ物を自分の嗣業の分として食べることができる。   |
| K ヨシュア記  | 9:6 彼らはギルガルの陣営に来てヨシュアとイスラエル人に、「わたしたちは遠い国から参りました。どうか今、わたしたちと協定を結んでください」と言うと、  |
| K ヨシュア記  | 9:7 イスラエル人はそのヒビ人に言った。「お前たちは、我々と共にここに住んでいるのだろう。どうして協定を結ぶようか。」   |
| K 士師記    | 7:8 その民の糧食と角笛は三百人が受け取った。彼はすべてのイスラエル人をそれぞれ自分の天幕に帰らせたが、その三百人だけは引き留めておいた。ミディアン人の陣営は下に広がる平野にあった。   |
| K 士師記    | 7:23 イスラエル人はナフタリ、アシェル、全マナセから集まり、ミディアン人を追撃した。   |
| K 士師記    | 20:20 イスラエル人はベニヤミンとの戦いに出陣し、ギブアに対して戦闘態勢に入ったが、   |
| K 士師記    | 20:22 しかし、イスラエル人の部隊は奮起し、最初の日に戦闘態勢に入った場所で、態勢を立て直した。   |
| K 士師記    | 20:36 ベニヤミンの人々は敗北を認めざるをえなかった。イスラエル人はギブアに対して配置した伏兵を信頼していたので、ベニヤミンに戦場を明け渡した。   |
| K 士師記    | 20:38 イスラエル人と伏兵との間に打ち合わせがあつて、町からのろしの煙が高々と揚がると、   |
| K 士師記    | 20:39 イスラエル人は戦線に復帰することになっていた。ベニヤミンは、イスラエル人に死傷者が始り、約三十人の兵を打ち倒したとき、「初戦と同様に、敵を打ち負かした」と思ったが、   |
| K 士師記    | 20:41 そこへイスラエル人が引き返して来たので、ベニヤミン人は、自分たちに、不幸な結末が訪れるのを知って、うろたえた。  |
| K 士師記    | 20:42 彼らはイスラエル人を見て荒れ野の方に向かったが、戦いを逃れることができなかった。町々から出て来た人々も加わって彼らを屠り去った。   |
| K 士師記    | 20:45 他の者は荒れ野のリモンの岩場に向かって逃げたが、イスラエル人は大路でその五千人を討ち、彼らが、壊滅するまで追い迫り、二千人を打ち殺した。   |

| タイトル(書名) | <p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091<br/>(新共同訳)<br/>[検索語彙 : イスラエル人]</p> 章:節 聖句 [検索対象総数 : 85 / 聖句等の総数 33250 (イスラエル人)91個] |
|----------|--|
| K 士師記    | 20:48 一方、イスラエル人はベニヤミンの人々のところに戻って来て、町の男たちから家畜まで、見つけしだい、残らず彼らを剣で撃ち、どの町にも見つけしだい火を放った。   |
| K 士師記    | 21:1 イスラエル人はミツバにおいて、「我々はだれも自分の娘をベニヤミンに嫁として与えないことにする」と誓った。  |
| K サムエル記上 | 6:6 なぜ、あなたたちは、エジプト人とファラオがその心を固くしたように、心を固くするのか。神が彼らを悩ませたので、彼らはイスラエル人を行かせざるをえなくなり、イスラエル人は去って行ったではないか。                                      |
| K サムエル記上 | 31:7 谷の向こう側と、ヨルダンの向こう側のイスラエル人は、イスラエル兵が逃げ、サウルとその息子たちが死んだのを見ると、町をことごとく捨てて逃げ去ったので、ペリシテ軍が来てそこにとどまった。   |
| K サムエル記下 | 15:6 アブサロムは、王に裁定を求めてやって来るイスラエル人すべてにこのようにふるまい、イスラエルの人々の心を盗み取った。   |
| K サムエル記下 | 15:13 イスラエル人の心はアブサロムに移っているという知らせが、ダビデに届いた。   |
| K サムエル記下 | 16:15 アブサロムはイスラエル人の兵士を全員率いてエルサレムに入城し、アヒトフェルも共にいた。  |
| K サムエル記下 | 17:14 アブサロムも、どのイスラエル人も、アルキ人フシャイの提案がアヒトフェルの提案にまさると思った。アヒトフェルの優れた提案が捨てられ、アブサロムに災いがくだることを主が定められたからである。                                      |
| K サムエル記下 | 17:25 アブサロムはヨアブの代わりにアマサを軍の司令官に任命した。アマサはイトラというイスラエル人の子で、イトラの妻はナハシュの娘アビガル、ヨアブの母ツェルヤの姉妹だった。   |
| K サムエル記下 | 19:23 だがダビデは言った。「ツェルヤの息子たちよ、ほうっておいてくれ。お前たちは今日わたしに敵対するつもりか。今日、イスラエル人が死刑にされてよいものだろうか。今日わたしがイスラエルの王であることを、わたし自身が知らないと思うのか。」                 |
| K 列王記上   | 2:15 彼は言った。「ご存じのとおり、王位はわたしのものであり、すべてのイスラエル人はわたしが王となるように期待していました。しかし、王位は移って弟のものとなりました。主のお計らいによってそうなったのです。                                 |
| K 列王記上   | 6:1 ソロモン王が主の神殿の建築に着手したのは、イスラエル人がエジプトの地を出てから四百八十年目、ソロモンがイスラエルの王になってから四年目のジウの月、すなわち第二の月であった。   |
| K 列王記上   | 8:1 ソロモンは、そこでイスラエルの長老、すべての部族長、イスラエル人諸家系の首長をエルサレムの自分のもとに召集した。「ダビデの町」シオンから主の契約の箱を担ぎ上げるためであった。  |
| K 列王記上   | 8:2 エタニムの月、すなわち第七の月の祭りに、すべてのイスラエル人がソロモン王のもとに集まった。  |
| K 列王記上   | 8:9 箱の中には石の板二枚のほか何もなかった。この石の板は、主がエジプトの地から出たイスラエル人と契約を結ばれたとき、ホレブでモーセがそこに納めたものである。   |
| K 列王記上   | 8:62 王はすべてのイスラエル人と共に主の御前にいけにえをささげた。  |
| K 列王記上   | 8:65 そのときソロモンは、すべてのイスラエル人、レボ・ハマトからエジプトの川に至るまでの大会衆と共に、わたしたちの神、主の御前で祭りを執り行った。それは七日間、更に七日間、合わせて十四日間にわたった。                                   |
| K 列王記上   | 9:20 イスラエル人ではない者、アモリ人、ヘト人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の生き残りの民のすべて、  |
| K 列王記上   | 9:21 彼らの後、この地に生き残った子孫で、イスラエル人が滅ぼし尽くすことのできなかった者を、ソロモンは奴隷として労役に服させ、今日に至っている。   |
| K 列王記上   | 9:22 しかしソロモンは、イスラエル人を一人も奴隷としなかった。彼らは戦士、王の家臣、将軍、精鋭、戦車隊と騎兵隊長であった。  |
| K 列王記上   | 11:16 ヨアブは、すべてのイスラエル人と共に六か月にわたり駐留し、エドムのすべての男子を滅ぼした。  |

| タイトル(書名) | <p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091<br/>(新共同訳)<br/>[検索語彙 : イスラエル人]</p> 章:節 聖句 [検索対象総数 : 85 / 聖句等の総数 33250 (イスラエル人)91個] |
|----------|--|
| K 列王記上   | 12:1 すべてのイスラエル人が王を立てるためにシケムに集まって来るというので、レハブアムもシケムに行った。   |
| K 列王記上   | 12:17 レハブアムは、ただユダの町々に住むイスラエル人に対してのみ王であり続けた。  |
| K 列王記上   | 20:15 そこでアハブが、諸州の知事に属する若者たちを召集すると、その数は二百三十二名であった。続いてすべての民すなわちイスラエル人七千人を召集した。   |
| K 列王記上   | 22:17 彼は答えた。「イスラエル人が皆、羊飼いのいない羊のように山々に散っているのをわたしは見ました。主は、『彼らには主人がいない。彼らをそれぞれ自分の家に無事に帰らせよ』と言われました。」  |
| K 列王記下   | 7:12 夜中に王は起きて家臣たちに言った。「アラム軍が我々に対して計っていることを教えよう。我々が飢えているのを知って、彼らは陣営を出て野に隠れ、『イスラエル人が町から出て来たら、彼らを生け捕りにし、町に攻め入ろう』と思っているのだ。」                  |
| K 列王記下   | 17:6 ホシエアの治世第九年にサマリアを占領した。彼はイスラエル人を捕らえてアッシリアに連れて行き、ヘラ、ハボル、ゴザン川、メディアの町々に住ませた。   |
| K 列王記下   | 18:11 アッシリアの王はイスラエル人を捕らえてアッシリアに連れて行き、ヘラ、ハボル、ゴザン川、メディアの町々にとどまらせた。   |
| K 歴代誌上   | 10:7 谷にいたイスラエル人は皆、兵士が逃げ、サウルとその息子たちが死んだのを見ると、自分たちの町をことごとく捨てて逃げ去ったので、ペリシテ軍が来てそこにとどまった。   |
| K 歴代誌上   | 11:1 すべてのイスラエル人はヘブロンのだビデのもとに集まり、こう言った。「御覧ください。わたしたちはあなたの骨肉です。」   |
| K 歴代誌上   | 11:4 だビデはすべてのイスラエル人と共にエルサレムに向かった。この町はエブスと言われ、エブス人がその地の住民であった。  |
| K 歴代誌上   | 13:5 だビデはエジプトのシホルからレボ・ハマトまでのすべてのイスラエル人を集め、神の箱をキルヤト・エアリムから運んで来ようとした。  |
| K 歴代誌上   | 13:6 だビデはすべてのイスラエル人と共にバアラト、つまりユダのキルヤト・エアリムの上に行った。それは、ケルビムの上に座しておられる主なる神の箱、その御名によって呼ばれる箱をそこから運び上げるためであった。                                 |
| K 歴代誌上   | 13:8 だビデとすべてのイスラエル人は、神の御前で力を込めて、歌をうたい、豎琴、琴、太鼓、シンバル、ラッパを奏でた。  |
| K 歴代誌上   | 16:3 イスラエル人のすべてに、男にも女にも、パン一個となつめやしの菓子、干しぶどうの菓子を分け与えた。  |
| K 歴代誌上   | 21:2 だビデはヨアブと民の將軍たちに命じた。「出かけて行って、ベエル・シェバからダンに及ぶイスラエル人の数を数え、その結果をわたしに報告せよ。その数を知りたい。」  |
| K 歴代誌上   | 21:14 主はそこでイスラエルに疫病をもたらされ、イスラエル人のうち七万人が倒れた。  |
| K 歴代誌下   | 5:2 ソロモンは、そこでイスラエルの長老、すべての部族長、イスラエル人諸家系の首長をエルサレムに召集した。「だビデの町」シオンから主の契約の箱を担ぎ上げるためであった。  |
| K 歴代誌下   | 5:3 第七の月の祭りに、すべてのイスラエル人が王のもとに集まった。   |
| K 歴代誌下   | 5:10 箱の中には石の板二枚のほか何もなかった。この石の板は、主がエジプトから出たイスラエル人と契約を結ばれたとき、ホレブでモーセが納めたものである。   |
| K 歴代誌下   | 7:3 イスラエル人は皆、火と主の栄光が神殿に降るのを見て、ひざまずいて敷石の上に顔を伏せ、礼拝して、「主は恵み深く、その慈しみはとこしえに」と主を賛美した。  |
| K 歴代誌下   | 7:6 祭司たちはその務めに就き、レビ人たちも、主の楽器を持って立った。その楽器は、だビデ王が、彼らの演奏によって賛美をささげるとき、「その慈しみはとこしえに」と主をたたえるために作ったものである。彼らの傍らで祭司たちはラッパを吹いた。すべてのイスラエル人が立っていた。  |

| タイトル(書名) | <p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091<br/>(新共同訳)<br/>[検索語彙：イスラエル人]</p> 章：節 聖句 [検索対象総数：85 / 聖句等の総数 33250 (イスラエル人)91個]                     |
|----------|--|
| K 歴代誌下   | 7:8 そのときソロモンは、すべてのイスラエル人、レボ・ハマトからエジプトの川に至るまでの極めて大きな会衆と共に、七日間にわたって祭りを執り行った。   |
| K 歴代誌下   | 8:2 フラムから贈られた町を次々と再建し、そこにイスラエル人を住ませた。  |
| K 歴代誌下   | 8:7 イスラエル人ではない者、ヘト人、アモリ人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の生き残りの民のすべて、   |
| K 歴代誌下   | 8:8 彼らの後、この地に生き残った子孫で、イスラエル人によって滅ぼされなかった者を、ソロモンは労役に服させ、今日に至っている。   |
| K 歴代誌下   | 8:9 しかしソロモンは、イスラエル人を一人も自分の工事のために奴隷としなかった。彼らは、戦士、精鋭部隊の長、戦車隊と騎兵隊の長であった。  |
| K 歴代誌下   | 10:1 すべてのイスラエル人が王を立てるためにシケムに集まって来るというので、レハブアムもシケムに行った。   |
| K 歴代誌下   | 10:17 レハブアムは、ただユダの町々に住むイスラエル人に対してのみ王であり続けた。  |
| K 歴代誌下   | 11:3 「ユダの王、ソロモンの子レハブアム、およびユダとベニヤミンにいるすべてのイスラエル人に言え。  |
| K 歴代誌下   | 12:1 レハブアムは国が固まり、自らも力をつけると、すべてのイスラエル人と共に主の律法を捨てた。  |
| K 歴代誌下   | 18:16 彼は答えた。「イスラエル人が皆、羊飼いのいない羊のように山々に散っているのをわたしは見ました。主は、『彼らには主人がいない。彼らをそれぞれ自分の家に無事に帰らせよ』と言われました。」  |
| K 歴代誌下   | 20:10 今、アンモン人、モアブ人、セイルの山の人々を見てください。かつてイスラエル人がエジプトの地から出て来たとき、あなたは彼らの土地に入っていくことをお許しになりませんでした。そのためイスラエル人は、彼らを避け、滅ぼさずにおきました。                                 |
| K 歴代誌下   | 24:5 祭司とレビ人を集めて言った。「ユダの町々に出かけて行って、あなたたちの神の神殿を毎年修理するため、すべてのイスラエル人から資金を集めよ。速やかに取りかかれ。」しかし、レビ人たちは速やかに取りかからなかった。   |
| K 歴代誌下   | 31:1 このようなことがすべて終わると、そこにいたすべてのイスラエル人はユダの町々に出かけて、石柱を砕き、アシェラ像を切り倒し、聖なる高台と祭壇を破壊し、ユダ全土、ベニヤミン、エフライム、マナセからそれらを徹底的に除き去った。こうしてイスラエルの人々は皆、それぞれ自分の町、自分の所有地に帰って行った。 |
| K 歴代誌下   | 33:2 彼は主がイスラエル人の前から追い払われた諸国の民の忌むべき慣習に倣い、主の目に悪とされることを行った。   |
| K エズラ記   | 2:70 祭司、レビ人、民の一部、詠唱者、門衛、神殿の使用人はそれぞれ自分たちの町に住んだ。イスラエル人は皆それぞれ、自分たちの町に住んだ。   |
| K エズラ記   | 8:25 そして王とその顧問官たち、高官たち、および居合わせたすべてのイスラエル人が神殿への礼物としてささげた金銀、祭具を量って彼らに託した。  |
| K エズラ記   | 10:1 エズラは神殿の前で祈り、涙ながらに罪を告白し、身を伏せていた。イスラエル人が彼のもとに集まり、男、女、子供から成る非常に大きな会衆ができた。この人々も激しく泣いていた。  |
| K エズラ記   | 10:25 イスラエル人の中では、パルオシュの一族のラムヤ、イジヤ、マルキヤ、ミヤミン、エルアザル、マルキヤ、ベナヤ。  |
| K ネヘミア記  | 7:72 祭司、レビ人、門衛、詠唱者、民の一部、神殿の使用人、すなわちイスラエル人は皆それぞれ自分たちの町に住んだ。   |
| K ネヘミア記  | 13:2 かつて彼らは、パンと水をもってイスラエル人を迎えず、バラムを雇ってイスラエル人を呪わせようとしたからである。わたしたちの神は、その呪いを祝福に変えてくださった。  |
| K ダニエル書  | 1:3 さて、ネブカドネツアル王は侍従長アシュペナズに命じて、イスラエル人の王族と貴族の中から、   |

|   |          |   |
|---|----------|---|
|   | タイトル(書名) | <p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091<br/>(新共同訳)<br/>[検索語彙 : イスラエル人]</p> <p>章:節 聖句 [検索対象総数 : 85 / 聖句等の総数 33250 (イスラエル人)91個]</p> |
| K | オバデヤ書    | 1:20 捕囚となったイスラエル人の軍団は、カナン人の地をサレプタまで所有する。捕囚となった、セファラドにいるエルサレムの人々は、ネゲブの町々を所有する。   |



| タイトル(書名)      | <p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091<br/>(新共同訳)<br/>[検索語彙 : イスラエル人]</p> <p>章:節 聖句 [検索対象総数 : 7 / 聖句等の総数 33250 &lt;イスラエル人&gt;7個]</p> |
|---------------|---|
| S ヨハネによる福音書   | 1:47 イエスは、ナタナエルが御自分の方へ来るのを見て、彼のことをこう言われた。「見なさい。まことのイスラエル人だ。この人には偽りが無い。」   |
| S 使徒言行録       | 7:26 次の日、モーセはイスラエル人が互いに争っているところに来合わせたので、仲直りをさせようとして言いました。『君たち、兄弟どうしてではないか。なぜ、傷つけ合うのだ。』  |
| S ローマの信徒への手紙  | 9:6 ところで、神の言葉は決して効力を失ったわけではありません。イスラエルから出た者が皆、イスラエル人ということにはならず、   |
| S ローマの信徒への手紙  | 11:1 では、尋ねよう。神は御自分の民を退けられたのであろうか。決してそうではない。わたしもイスラエル人で、アブラハムの子孫であり、ベニヤミン族の者です。  |
| S ローマの信徒への手紙  | 11:25 兄弟たち、自分を賢い者とうぬぼれないように、次のような秘められた計画をぜひ知ってもらいたい。すなわち、一部のイスラエル人がかたくなになったのは、異邦人全体が救いに達するまでであり、  |
| S ローマの信徒への手紙  | 11:28 福音について言えば、イスラエル人は、あなたがたのために神に敵対していますが、神の選びについて言えば、先祖たちのお陰で神に愛されています。  |
| S コリント信徒への手紙Ⅱ | 11:22 彼らはヘブライ人なのか。わたしもそうです。イスラエル人なのか。わたしもそうです。アブラハムの子孫なのか。わたしもそうです。   |

| タイトル(書名) | 章:節 聖句 [検索対象総数: 51 / 聖句等の総数 33250 (ユダヤ人)61個]  | 聖書Navi Active 393128091<br>(新共同訳)<br>[検索語彙: ユダヤ人] |
|----------|---|---|
| K エステル記  | 2:5 要塞の町スサに一人のユダヤ人がいた。名をモルデカイといい、キシユ、シムイ、ヤイルと続くベニヤミン族の家系に属していた。   |   |
| K エステル記  | 3:4 来る日も来る日もこう言われたが、モルデカイは耳を貸さなかった。モルデカイが自分はユダヤ人だと言っていたので、彼らはそれを確かめるようにハマンに勧めた。   |   |
| K エステル記  | 3:6 モルデカイがどの民族に属するのかわ知らされたハマンは、モルデカイ一人を討つだけでは不十分だと思い、クセルクセスの国中にあるモルデカイの民、ユダヤ人を皆、滅ぼそうとした。  |   |
| K エステル記  | 3:10 王は指輪をはずし、ユダヤ人の迫害者、アガグ人ハメダタの子ハマンに渡して、   |   |
| K エステル記  | 3:13 急使はこの勅書を全国に送り届け、第十二の月、すなわちアダルの月の十三日に、しかもその日のうちに、ユダヤ人は老若男女を問わず一人残らず滅ぼされ、殺され、絶滅させられ、その持ち物は没収されることとなった。   |   |
| K エステル記  | 4:3 勅書が届いた所では、どの州でもユダヤ人の間に大きな嘆きが起こった。多くの者が粗布をまとい、灰の中に座って断食し、涙を流し、悲嘆にくれた。  |   |
| K エステル記  | 4:7 モルデカイは事の一部始終、すなわちユダヤ人を絶滅して銀貨を国庫に払い込む、とハマンが言ったことについて詳しく語った。  |   |
| K エステル記  | 4:8 彼はスサで公示されたユダヤ人絶滅の触れ書きの写しを託し、これをエステルに見せて説明するように頼んだ。同時に、彼女自身が王のもとに行って、自分の民族のために寛大な処置を求め、嘆願するように伝言させた。   |   |
| K エステル記  | 4:13 モルデカイは再びエステルに言い送った。「他のユダヤ人はどうであれ、自分は王宮にいて無事だと考えてはいけな   |   |
| K エステル記  | 4:14 この時にあたってあなたが口を閉ざしているなら、ユダヤ人の解放と救済は他のところから起こり、あなた自身と父の家は滅ぼされるにちがいない。この時のためにこそ、あなたは王妃の位にまで達したのではないか。」  |   |
| K エステル記  | 4:16 「早速、スサにいるすべてのユダヤ人を集め、私のために三日三晩断食し、飲食を一切断ってください。私も女官たちと共に、同じように断食いたします。このようにしてから、定めに反することではありますが、私は王のもとに参ります。このために死ななければならないのでしたら、死ぬ覚悟しております。」                |   |
| K エステル記  | 5:13 だが、王宮の門に座っているユダヤ人モルデカイを見るたびに、そのすべてがわたしにはむなしいものとなる。」  |   |
| K エステル記  | 6:10 王はそこでハマンに言った。「それでは早速、わたしの着物と馬を取り、王宮の門に座っているユダヤ人モルデカイに、お前が今言ったとおりにしなさい。お前が今言ったことは何一つおろそかにしてはならない。」  |   |
| K エステル記  | 6:13 彼は一部始終を妻ゼレシュと親しい友達とに話した。そのうちの知恵ある者もゼレシュも彼に言った。「モルデカイはユダヤ人の血筋の者で、その前で落ち目になりだしたら、あなたにはもう勝ち目はなく、あなたはその前でただ落ちぶれるだけです。」   |   |
| K エステル記  | 8:1 その日クセルクセス王は、ユダヤ人の敵ハマンの家を王妃エステルに与えた。エステルはモルデカイとの間柄を知らせたので、モルデカイは王の前に出た。  |   |
| K エステル記  | 8:3 エステルは、再び王の前に申し出て、その足もとにひれ伏し、涙を流し、憐れみを乞い、アガグ人ハマンの悪事、すなわち、ユダヤ人に対して彼がたくらんだことを無効にさせていただくことを願った。   |   |
| K エステル記  | 8:5 言った。「もしお心に適い、特別の御配慮をいただき、また王にも適切なことと思われ、私にも御目をかけていただけますなら、アガグ人ハメダタの子ハマンの考え出した文書の取り消しを書かせていただきとうございます。ハマンは国中のユダヤ人を皆殺しにしようとしてあの文書を作りました。                        |   |
| K エステル記  | 8:7 そこでクセルクセス王は王妃エステルとユダヤ人モルデカイに言った。「わたしはハマンの家をエステルに与え、ハマンを木につるした。ハマンがユダヤ人を滅ぼそうとしたからにはほかならない。   |   |
| K エステル記  | 8:8 お前たちはよいと思うことをユダヤ人のために王の名によって書き記し、王の指輪で印を押すがよい。王の名によって書き記され、王の指輪で印を押された文書は、取り消すことができない。」   |   |
| K エステル記  | 8:9 そのころ、第三の月のこと、すなわちシワンの月の二十三日に、王の書記官が召集され、インドからクシュに至るまで、百二十七州にいるユダヤ人と総督、地方長官、諸州の高官たちに対してモルデカイが命ずるがままに文書が作成された。それは各州ごとにその州の文字で、各民族ごとにその民族の言語で、ユダヤ人にはユダヤ文字とその言語で、 |   |
| K エステル記  | 8:11 こうして王の命令によって、どの町のユダヤ人にも自分たちの命を守るために集合し、自分たちを迫害する民族や州の軍隊を女や子供に至るまで一人残らず滅ぼし、殺し、絶滅させ、その持ち物を奪い取ることが許された。   |   |

| タイトル(書名) | 章:節 聖句 [検索対象総数: 51 / 聖句等の総数 33250 (ユダヤ人)61個]  | 聖書Navi Active 393128091<br>(新共同訳)<br>[検索語彙: ユダヤ人] |
|----------|---|---|
| K エステル記  | 8:13 この文書の写しはどの州でもすべての民族に国の定めとして公示され、ユダヤ人は敵に復讐するためその日に備えるようになった。  |   |
| K エステル記  | 8:16 それはユダヤ人にとって輝かしく、祝うべきこと、喜ばしく、誉れあることであった。  |   |
| K エステル記  | 8:17 王の命令とその定めが届くと、州という州、町という町で、ユダヤ人は喜び祝い、宴会を開いて楽しくその日を過ごした。その地の民族にもユダヤ人になろうとする者が多く出た。ユダヤ人に対する恐れに襲われたからである。 |   |
| K エステル記  | 9:1 第十二の月、すなわちアダルの月の十三日に、この王の命令と定めが実行されることとなった。それは敵がユダヤ人を征伐しようとしていた日であったが、事態は逆転し、ユダヤ人がその仇敵を征伐する日となった。       |   |
| K エステル記  | 9:2 ユダヤ人はクセルクセス王の州のどこでも、自分たちの町で、迫害する者を滅ぼすために集合した。ユダヤ人に立ち向かう者は一人もいなかった。どの民族もユダヤ人に対する恐れに見舞われたからである。           |   |
| K エステル記  | 9:3 諸州の高官、総督、地方長官、王の役人たちは皆、モルデカイに対する恐れに見舞われ、ユダヤ人の味方になった。  |   |
| K エステル記  | 9:5 ユダヤ人は敵を一人残らず剣にかけて討ち殺し、滅ぼして、仇敵を思いのままにした。   |   |
| K エステル記  | 9:6 要塞の町スサでユダヤ人に殺され、滅ぼされた者の数は五百人に達した。   |   |
| K エステル記  | 9:10 ユダヤ人の敵ハマダタの子ハマンの十人の息子を殺した。しかし、持ち物には手をつけなかった。   |   |
| K エステル記  | 9:12 王は王妃エステルに言った。「要塞の町スサでユダヤ人は五百人とハマンの息子十人を殺し、滅ぼした。王国の他のところではどうだったか。まだ望みがあるならかなえてあげる。まだ何か願い事があれば応じてあげよう。」  |   |
| K エステル記  | 9:13 エステルは言った。「もしお心に適いますなら、明日もまた今日の勅令を行えるように、スサのユダヤ人のためにお許しをいただき、ハマンの息子十人を木につるさせていただきとうございます。」              |   |
| K エステル記  | 9:15 スサのユダヤ人はアダルの月の十四日にも集合し、三百人を殺した。しかし、持ち物には手をつけなかった。  |   |
| K エステル記  | 9:16 王国の諸州にいる他のユダヤ人も集合して自分たちの命を守り、敵をなくして安らぎを得、仇敵七万五千人を殺した。しかし、持ち物には手をつけなかった。                                |   |
| K エステル記  | 9:18 スサのユダヤ人は同月の十三日と十四日に集合し、十五日には安らぎを得て、この日を祝宴と喜びの日とした。   |   |
| K エステル記  | 9:19 こういうわけで、地方の町に散在して住む離散のユダヤ人は、アダルの月の十四日を祝いの日と定め、宴会を開いてその日を楽しみ、贈り物を交換する。                                  |   |
| K エステル記  | 9:20 モルデカイはこれらの出来事を書き記し、クセルクセス王のすべての州にいる全ユダヤ人に、近くにいる者にも遠くにいる者にも文書を送り、                                       |   |
| K エステル記  | 9:22 ユダヤ人が敵をなくして安らぎを得た日として、悩みが喜びに、嘆きが祭りに変わった月として、この月の両日を宴会と祝祭の日とし、贈り物を交換し、貧しい人に施しをすることとした。                  |   |
| K エステル記  | 9:23 ユダヤ人は既に実行し始めていたことでもあり、またモルデカイが書き送ってきたこのことを受け入れた。   |   |
| K エステル記  | 9:24 すなわち、「全ユダヤ人の敵アガグ人ハマダタの子ハマンはユダヤ人絶滅をたくらみ、プルと呼ばれるくじを投げ、ユダヤ人を滅ぼし去ろうとした。                                    |   |
| K エステル記  | 9:25 ところが、このことが王に知らされると、王は文書をもって、ハマンがユダヤ人に対してたくらんだ悪いたくらみはハマン自身の頭上にふりかかり、彼は息子らと共に木につるされるよう命じられた。             |   |
| K エステル記  | 9:27 ユダヤ人は自分たちも、その子孫も、また自分たちに同調するすべての人も同様に毎年この両日を記載されているとおり、またその日付のとおり、怠りなく祝うことを制定し、ならわしとした。                |   |

| タイトル(書名) | <p style="text-align: right;">聖書Navi Active 393128091<br/>(新共同訳)<br/>[検索語彙：ユダヤ人]</p> <p>章：節 聖句 [検索対象総数：51 / 聖句等の総数 33250 (ユダヤ人)61個]</p> |
|----------|---|
| K エステル記  | 9:28 こうして、この両日はどの世代にも、どの部族でも、どの州でも、どの町でも記念され、祝われてきた。このプリムの祭りは、ユダヤ人の中から失せてはならないものであり、その記念は子孫も決して絶やしてはならないものである。                          |
| K エステル記  | 9:29 さて、王妃となったアビハイルの娘エステルは、ユダヤ人モルデカイと共にプリムに関するこの第二の書簡をすべての権限をもってしたため、確認した。  |
| K エステル記  | 9:30 クセルクセスの王国百二十七州にいるすべてのユダヤ人に、平和と真実の言葉をもって文書が送られ、   |
| K エステル記  | 9:31 こうしてユダヤ人モルデカイが王妃エステルと共に定めたとおり、また彼らが自分たちとその子孫のために断食と嘆きに関して定めたとおり、プリムの祭りの日付が定められた。   |
| K エステル記  | 10:3 ユダヤ人モルデカイはクセルクセス王に次ぐ地位についたからである。ユダヤ人には仰がれ、多くの兄弟たちには愛されて、彼はその民の幸福を追い求め、そのすべての子孫に平和を約束した。  |
| K エレミヤ書  | 40:11 モアブ、アンモン、エドム、その他の国々にいたユダヤ人たちも皆、バビロンの王が、ユダに残留者を認め、シャファンの孫でアヒカムの子であるゲダルヤに、彼らの監督をゆだねたことを聞いた。   |
| K ダニエル書  | 3:8 さてこのとき、何人かのカルデア人がユダヤ人を中傷しようと進み出て、   |
| K ダニエル書  | 3:12 バビロン州には、その行政をお任せになっているユダヤ人シャドラク、メシャク、アベド・ネゴの三人がおりますが、この人々は御命令を無視して、王様の神に仕えず、お建てになった金の像を拝もうとしません。」                                  |
| K ダニエル書  | 5:13 そこで、ダニエルが王の前に召し出された。王は彼に言った。「父王がユダから捕らえ帰ったユダヤ人の捕囚の一人、ダニエルというのはお前か。   |

| タイトル(書名)    | 章:節 聖句 [検索対象総数: 199 / 聖句等の総数 33250 (ユダヤ人)217個]                                     | 聖書Navi Active 393128091<br>(新共同訳)<br>[検索語彙: ユダヤ人] |
|-------------|--|---|
| S マタイによる福音書 | 2:2 言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」              |   |
| S マタイによる福音書 | 27:11 さて、イエスは総督の前に立たれた。総督がイエスに、「お前がユダヤ人の王なのか」と尋問すると、イエスは、「それは、あなたが言っていることです」と言われた。 |   |
| S マタイによる福音書 | 27:29 茨で冠を編んで頭に載せ、また、右手に葦の棒を持たせて、その前にひざまずき、「ユダヤ人の王、万歳」と言って、侮辱した。                   |   |
| S マタイによる福音書 | 27:37 イエスの頭の上には、「これはユダヤ人の王イエスである」と書いた罪状書きを掲げた。                                     |   |
| S マタイによる福音書 | 28:15 兵士たちは金を受け取って、教えられたとおりにした。この話は、今日に至るまでユダヤ人の間に広まっている。                          |   |
| S マルコによる福音書 | 7:3 ——ファリサイ派の人々をはじめユダヤ人は皆、昔の人の言い伝えを固く守って、念入りに手を洗ってからでないと食事をせず、                     |   |
| S マルコによる福音書 | 15:2 ピラトがイエスに、「お前がユダヤ人の王なのか」と尋問すると、イエスは、「それは、あなたが言っていることです」と答えられた。                 |   |
| S マルコによる福音書 | 15:9 そこで、ピラトは、「あのユダヤ人の王を釈放してほしいのか」と言った。  |   |
| S マルコによる福音書 | 15:12 そこで、ピラトは改めて、「それでは、ユダヤ人の王とお前たちが言っているあの者は、どうしてほしいのか」と言った。                      |   |
| S マルコによる福音書 | 15:18 「ユダヤ人の王、万歳」と言って敬礼し始めた。   |   |
| S マルコによる福音書 | 15:26 罪状書きには、「ユダヤ人の王」と書いてあった。  |   |
| S ルカによる福音書  | 7:3 イエスのことを聞いた百人隊長は、ユダヤ人の長老たちを使いに来て、部下を助けに来てくださるよう頼んだ。                             |   |
| S ルカによる福音書  | 7:5 わたしたちユダヤ人を愛して、自ら会堂を建ててくれたのです。」   |   |
| S ルカによる福音書  | 23:3 そこで、ピラトがイエスに、「お前がユダヤ人の王なのか」と尋問すると、イエスは、「それは、あなたが言っていることです」とお答えになった。           |   |
| S ルカによる福音書  | 23:37 言った。「お前がユダヤ人の王なら、自分を救ってみろ。」  |   |
| S ルカによる福音書  | 23:38 イエスの頭の上には、「これはユダヤ人の王」と書いた札も掲げてあった。   |   |
| S ルカによる福音書  | 23:51 同僚の決議や行動には同意しなかった。ユダヤ人の町アリマタヤの出身で、神の国を待ち望んでいたのである。                           |   |
| S ヨハネによる福音書 | 1:19 さて、ヨハネの証しはこうである。エルサレムのユダヤ人たちが、祭司やレビ人たちをヨハネのもとへ遣わして、「あなたは、どなたですか」と質問させたとき、     |   |
| S ヨハネによる福音書 | 2:6 そこには、ユダヤ人が清めに用いる石の水がめが六つ置いてあった。いずれも二ないし三メートル入りのものである。                          |   |
| S ヨハネによる福音書 | 2:13 ユダヤ人の過越祭が近づいたので、イエスはエルサレムへ上って行かれた。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 2:18 ユダヤ人たちはイエスに、「あなたは、こんなことをするからには、どんなしるしをわたしたちに見せるつもりか」と言った。                     |   |

| タイトル(書名)    | 章:節 聖句 [検索対象総数: 199 / 聖句等の総数 33250 <ユダヤ人>217個]  | 聖書Navi Active 393128091<br>(新共同訳)<br>[検索語彙: ユダヤ人] |
|-------------|---|---|
| S ヨハネによる福音書 | 2:20 それでユダヤ人たちは、「この神殿は建てるのに四十六年もかかったのに、あなたは三日で建て直すのか」と言った。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 3:1 さて、ファリサイ派に属する、ニコデモという人がいた。ユダヤ人たちの議員であった。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 3:25 ところがヨハネの弟子たちと、あるユダヤ人との間で、清めのことで論争が起こった。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 4:9 すると、サマリアの女は、「ユダヤ人のあなたがサマリアの女のわたしに、どうして水を飲ませてほしいと頼むのですか」と言った。ユダヤ人はサマリア人とは交際しないからである。                 |   |
| S ヨハネによる福音書 | 4:22 あなたがたは知らないものを礼拝しているが、わたしたちは知っているものを礼拝している。救いはユダヤ人から来るからだ。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 5:1 その後、ユダヤ人の祭りがあったので、イエスはエルサレムに上られた。   |   |
| S ヨハネによる福音書 | 5:10 そこで、ユダヤ人たちは病気をいやしていただいた人に言った。「今日は安息日だ。だから床を担ぐことは、律法で許されていない。」                                      |   |
| S ヨハネによる福音書 | 5:15 この人は立ち去って、自分をいやしたのはイエスだと、ユダヤ人たちに知らせた。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 5:16 そのために、ユダヤ人たちはイエスを迫害し始めた。イエスが、安息日にこのようなことをしておられたからである。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 5:18 このために、ユダヤ人たちは、ますますイエスを殺そうとねらうようになった。イエスが安息日を破るだけでなく、神を御自分の父と呼んで、御自身を神と等しい者とされたからである。               |   |
| S ヨハネによる福音書 | 6:4 ユダヤ人の祭りである過越祭が近づいていた。   |   |
| S ヨハネによる福音書 | 6:41 ユダヤ人たちは、イエスが「わたしは天から降って来たパンである」と言われたので、イエスのことでつぶやき始め、  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 6:52 それで、ユダヤ人たちは、「どうしてこの人は自分の肉を我々に食べさせることができるのか」と、互いに激しく議論し始めた。   |   |
| S ヨハネによる福音書 | 7:1 その後、イエスはガリラヤを巡っておられた。ユダヤ人が殺そうとねらっていたので、ユダヤを巡ろうとは思われなかった。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 7:2 ときに、ユダヤ人の仮庵祭が近づいていた。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 7:11 祭りのときユダヤ人たちはイエスを捜し、「あの男はどこにいるのか」と言っていた。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 7:13 しかし、ユダヤ人たちを恐れて、イエスについて公然と語る者はいなかった。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 7:15 ユダヤ人たちが驚いて、「この人は、学問をしたわけでもないのに、どうして聖書をこんなによく知っているのだろう」と言うと、  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 7:35 すると、ユダヤ人たちが互いに言った。「わたしたちが見つめることはないとは、いったい、どこへ行かつもりだろう。ギリシア人の間に離散しているユダヤ人のところへ行つて、ギリシア人に教えるともいうのか。」 |   |
| S ヨハネによる福音書 | 8:22 ユダヤ人たちが、「『わたしの行く所に、あなたたちは来ることができない』と言っているが、自殺でもするつもりなのだろうか」と話していると、                                |   |
| S ヨハネによる福音書 | 8:31 イエスは、御自分を信じたユダヤ人たちに言われた。「わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。」                                       |   |

| タイトル(書名)    | 章:節 聖句 [検索対象総数: 199 / 聖句等の総数 33250 (ユダヤ人)217個]   | 聖書Navi Active 393128091<br>(新共同訳)<br>[検索語彙: ユダヤ人] |
|-------------|--|---|
| S ヨハネによる福音書 | 8:48 ユダヤ人たちが、「あなたはサマリア人で悪霊に取りつかれていると、我々が言うのも当然ではないか」と言い返すと、  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 8:52 ユダヤ人たちは言った。「あなたが悪霊に取りつかれていることが、今はっきりした。アブラハムは死んだし、預言者たちも死んだ。ところが、あなたは、『わたしの言葉を守るなら、その人は決して死を味わうことがない』と言う。 |   |
| S ヨハネによる福音書 | 8:57 ユダヤ人たちが、「あなたは、まだ五十歳にもならないのに、アブラハムを見たのか」と言うと、  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 8:59 すると、ユダヤ人たちは、石を取り上げ、イエスに投げつけようとした。しかし、イエスは身を隠して、神殿の境内から出て行かれた。   |   |
| S ヨハネによる福音書 | 9:18 それでも、ユダヤ人たちはこの人について、盲人であったのに目が見えるようになったということ信じなかった。ついに、目が見えるようになった人の両親を呼び出して、                             |   |
| S ヨハネによる福音書 | 9:22 両親がこう言ったのは、ユダヤ人たちを恐れていたからである。ユダヤ人たちは既に、イエスをメシアであると公に言い表す者がいれば、会堂から追放すると決めていたのである。                         |   |
| S ヨハネによる福音書 | 9:24 さて、ユダヤ人たちは、盲人であった人をもう一度呼び出して言った。「神の前で正直に答えなさい。わたしたちは、あの者が罪ある人間だと知っているのだ。」                                 |   |
| S ヨハネによる福音書 | 10:19 この話をめぐって、ユダヤ人たちの間にまた対立が生じた。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 10:20 多くのユダヤ人は言った。「彼は悪霊に取りつかれて、気が変になっている。なぜ、あなたたちは彼の言うことに耳を貸すのか。」  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 10:24 すると、ユダヤ人たちがイエスを取り囲んで言った。「いつまで、わたしたちに気をもませるのか。もしメシアなら、はっきりそう言いなさい。」                                       |   |
| S ヨハネによる福音書 | 10:31 ユダヤ人たちは、イエスを石で打ち殺そうとして、また石を取り上げた。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 10:33 ユダヤ人たちは答えた。「善い業のことで、石で打ち殺すのではない。神を冒涇したからだ。あなたは、人間なのに、自分を神としているからだ。」                                      |   |
| S ヨハネによる福音書 | 10:39 そこで、ユダヤ人たちはまたイエスを捕らえようとしたが、イエスは彼らの手を逃れて、去って行かれた。   |   |
| S ヨハネによる福音書 | 11:8 弟子たちは言った。「ラビ、ユダヤ人たちがついこの間もあなたを石で打ち殺そうとしたのに、またそこへ行かれるのですか。」  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 11:19 マルタとマリアのところには、多くのユダヤ人が、兄弟ラザロのことで慰めに來ていた。   |   |
| S ヨハネによる福音書 | 11:31 家の中でマリアと一緒にいて、慰めていたユダヤ人たちは、彼女が急に立ち上がり出て行くのを見て、墓に泣きに行くのだろうと思い、後を追った。                                      |   |
| S ヨハネによる福音書 | 11:33 イエスは、彼女が泣き、一緒に来たユダヤ人たちも泣いているのを見て、心に憤りを覚え、興奮して、   |   |
| S ヨハネによる福音書 | 11:36 ユダヤ人たちは、「御覧なさい、どんなにラザロを愛しておられたことか」と言った。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 11:45 マリアのところに来て、イエスのなされたことを目撃したユダヤ人の多くは、イエスを信じた。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 11:54 それで、イエスはもはや公然とユダヤ人たちの間を歩くことはなく、そこを去り、荒れ野に近い地方のエフライムという町に行き、弟子たちとそこに滞在された。                                |   |
| S ヨハネによる福音書 | 11:55 さて、ユダヤ人の過越祭が近づいた。多くの人が身を清めるために、過越祭の前に地方からエルサレムへ上った。  |   |

| タイトル(書名)    | 章:節 聖句 [検索対象総数: 199 / 聖句等の総数 33250 <ユダヤ人>217個]   | 聖書Navi Active 393128091<br>(新共同訳)<br>[検索語彙: ユダヤ人] |
|-------------|--|---|
| S ヨハネによる福音書 | 12:9 イエスがそこにおられるのを知って、ユダヤ人の大群衆がやって来た。それはイエスだけが目当てではなく、イエスが死者の中からよみがえらせたラザロを見るためでもあった。                                |   |
| S ヨハネによる福音書 | 12:11 多くのユダヤ人がラザロのことで離れて行って、イエスを信じるようになったからである。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 13:33 子どもたちよ、いましばらく、わたしはあなたがたと共にいる。あなたがたはわたしを捜すだろう。『わたしが行く所にあなたたちは来ることができない』とユダヤ人たちに言ったように、今、あなたがたにも同じことを言うておく。      |   |
| S ヨハネによる福音書 | 18:12 そこで一隊の兵士と千人隊長、およびユダヤ人の下役たちは、イエスを捕らえて縛り、  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 18:14 一人の人間が民の代わりに死ぬ方が好都合だと、ユダヤ人たちに助言したのは、このカイアファであった。   |   |
| S ヨハネによる福音書 | 18:20 イエスは答えられた。「わたしは、世に向かって公然と話した。わたしはいつも、ユダヤ人が皆集まる会堂や神殿の境内で教えた。ひそかに話したことは何もない。                                     |   |
| S ヨハネによる福音書 | 18:31 ピラトが、「あなたたちが引き取って、自分たちの律法に従って裁け」と言うと、ユダヤ人たちは、「わたしたちには、人を死刑にする権限がありません」と言った。                                    |   |
| S ヨハネによる福音書 | 18:33 そこで、ピラトはもう一度官邸に入り、イエスを呼び出して、「お前がユダヤ人の王なのか」と言った。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 18:35 ピラトは言い返した。「わたしはユダヤ人なのか。お前の同胞や祭司長たちが、お前をわたしに引き渡したのだ。いったい何をしたのか。」  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 18:36 イエスはお答えになった。「わたしの国は、この世には属していない。もし、わたしの国がこの世に属していれば、わたしがユダヤ人に引き渡されないように、部下が戦ったことだろう。しかし、実際、わたしの国はこの世には属していない。」 |   |
| S ヨハネによる福音書 | 18:38 ピラトは、こう言ってからもう一度、ユダヤ人たちの前に出て来て言った。「わたしはあの男に何の罪も見いだせない。   |   |
| S ヨハネによる福音書 | 18:39 ところで、過越祭にはだれか一人をあなたたちに釈放するのが慣例になっている。あのユダヤ人の王を釈放してほしいか。」   |   |
| S ヨハネによる福音書 | 19:3 そばにやって来ては、「ユダヤ人の王、万歳」と言って、平手で打った。   |   |
| S ヨハネによる福音書 | 19:7 ユダヤ人たちは答えた。「わたしたちには律法があります。律法によれば、この男は死罪に当たります。神の子と自称したからです。」   |   |
| S ヨハネによる福音書 | 19:12 そこで、ピラトはイエスを釈放しようと努めた。しかし、ユダヤ人たちは叫んだ。「もし、この男を釈放するなら、あなたは皇帝の友ではない。王と自称する者は皆、皇帝に背いています。」                         |   |
| S ヨハネによる福音書 | 19:14 それは過越祭の準備の日の、正午ごろであった。ピラトがユダヤ人たちに、「見よ、あなたたちの王だ」と言うと、   |   |
| S ヨハネによる福音書 | 19:19 ピラトは罪状書きを書いて、十字架の上に掛けた。それには、「ナザレのイエス、ユダヤ人の王」と書いてあった。   |   |
| S ヨハネによる福音書 | 19:20 イエスが十字架につけられた場所は都に近かったので、多くのユダヤ人がその罪状書きを読んだ。それは、ヘブライ語、ラテン語、ギリシア語で書かれていた。                                       |   |
| S ヨハネによる福音書 | 19:21 ユダヤ人の祭司長たちがピラトに、「『ユダヤ人の王』と書かず、『この男は「ユダヤ人の王」と自称した』と書いてください」と言った。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 19:31 その日は準備の日で、翌日は特別の安息日であったので、ユダヤ人たちは、安息日に遺体を十字架の上に残しておかないために、足を折って取り降ろすように、ピラトに願い出た。                              |   |
| S ヨハネによる福音書 | 19:38 その後、イエスの弟子でありながら、ユダヤ人たちを恐れて、そのことを隠していたアリマタヤ出身のヨセフが、イエスの遺体を取り降ろしたいと、ピラトに願い出た。ピラトが許したので、ヨセフは行って遺体を取り降ろした。        |   |



| タイトル(書名)    | 章:節 聖句 [検索対象総数: 199 / 聖句等の総数 33250 (ユダヤ人)217個]   | 聖書Navi Active 393128091<br>(新共同訳)<br>[検索語彙: ユダヤ人] |
|-------------|--|---|
| S ヨハネによる福音書 | 19:40 彼らはイエスの遺体を受け取り、ユダヤ人の埋葬の習慣に従い、香料を添えて亜麻布で包んだ。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 19:42 その日はユダヤ人の準備の日であり、この墓が近かったので、そこにイエスを納めた。  |   |
| S ヨハネによる福音書 | 20:19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。                             |   |
| S 使徒言行録     | 2:5 さて、エルサレムには天下のあらゆる国から帰って来た、信心深いユダヤ人が住んでいたが、   |   |
| S 使徒言行録     | 2:11 ユダヤ人もいれば、ユダヤ教への改宗者もあり、クレタ、アラビアから来た者もいるのに、彼らがわたしたちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞こうとは。」  |   |
| S 使徒言行録     | 6:1 そのころ、弟子の数が増えてきて、ギリシア語を話すユダヤ人から、ヘブライ語を話すユダヤ人に対して苦情が出た。それは、日々の分配のことで、仲間のやもめたちが軽んじられていたからである。                               |   |
| S 使徒言行録     | 9:22 しかし、サウロはますます力を得て、イエスがメシアであることを論証し、ダマスコに住んでいるユダヤ人をうろたえさせた。   |   |
| S 使徒言行録     | 9:23 かなりの日数がたって、ユダヤ人はサウロを殺そうとたくらんだが、   |   |
| S 使徒言行録     | 9:24 この陰謀はサウロの知るところとなった。しかし、ユダヤ人は彼を殺そうと、昼も夜も町の門で見張っていた。  |   |
| S 使徒言行録     | 9:29 また、ギリシア語を話すユダヤ人と語り、議論もしたが、彼らはサウロを殺そうとねらっていた。  |   |
| S 使徒言行録     | 10:22 すると、彼らは言った。「百人隊長の科尔ネリウスは、正しい人で神を畏れ、すべてのユダヤ人に評判の良い人ですが、あなたを家に招いて話を聞くようにと、聖なる天使からお告げを受けたのです。」                            |   |
| S 使徒言行録     | 10:28 彼らに言った。「あなたがたもご存じのとおり、ユダヤ人が外国人と交際したり、外国人を訪問したりすることは、律法で禁じられています。けれども、神はわたしに、どんな人をも清くない者とか、汚れている者とか言ってはならないと、お示しになりました。 |   |
| S 使徒言行録     | 10:39 わたしたちは、イエスがユダヤ人の住む地方、特にエルサレムでなされたことすべての証人です。人々はイエスを木にかけて殺してしまいましたが、  |   |
| S 使徒言行録     | 11:19 ステファノの事件をきっかけにして起こった迫害のために散らされた人々は、フェニキア、キプロス、アンティオキアまで行ったが、ユダヤ人以外のだれにも御言葉を語らなかった。                                     |   |
| S 使徒言行録     | 12:3 そして、それがユダヤ人に喜ばれるのを見て、更にベトロをも捕らえようとした。それは、除酵祭の時期であった。  |   |
| S 使徒言行録     | 13:5 サラミスに着くと、ユダヤ人の諸会堂で神の言葉を告げ知らせた。二人は、ヨハネを助手として連れていた。   |   |
| S 使徒言行録     | 13:6 島全体を巡ってパフォスまで行くと、ユダヤ人の魔術師で、バルイエスという一人の偽預言者に会った。   |   |
| S 使徒言行録     | 13:43 集会が終わってからも、多くのユダヤ人と神をあがめる改宗者とがついて来たので、二人は彼らと語り合い、神の恵みの下に生き続けるように勧めた。   |   |
| S 使徒言行録     | 13:45 しかし、ユダヤ人はこの群衆を見てひどくねたみ、口汚くののして、パウロの話すことに反対した。  |   |
| S 使徒言行録     | 13:50 ところが、ユダヤ人は、神をあがめる貴婦人たちや町のおもだった人々を扇動して、パウロとバルナバを迫害させ、その地方から二人を追い出した。  |   |
| S 使徒言行録     | 14:1 イコニオンでも同じように、パウロとバルナバはユダヤ人の会堂に入って話をしたが、その結果、大勢のユダヤ人やギリシア人が信仰に入った。   |   |

| タイトル(書名) | 章:節 聖句 [検索対象総数: 199 / 聖句等の総数 33250 <ユダヤ人>217個]  | 聖書Navi Active 393128091<br>(新共同訳)<br>[検索語彙: ユダヤ人] |
|----------|---|---|
| S 使徒言行録  | 14:2 ところが、信じようとしないうダヤ人たちは、異邦人を扇動し、兄弟たちに対して悪意を抱かせた。  |   |
| S 使徒言行録  | 14:4 町の人々は分裂し、ある者はユダヤ人の側に、ある者は使徒の側についた。   |   |
| S 使徒言行録  | 14:5 異邦人とユダヤ人が、指導者と一緒になって二人に乱暴を働き、石を投げつけようとしたとき、  |   |
| S 使徒言行録  | 14:19 ところが、ユダヤ人たちがアンティオキアとイコニオンからやって来て、群衆を抱き込み、パウロに石を投げつけ、死んでしまったものと思って、町の外へ引きずり出した。                      |   |
| S 使徒言行録  | 16:3 パウロは、このテモテと一緒に連れて行きたかったので、その地方に住むユダヤ人の手前、彼に割礼を授けた。父親がギリシア人であることを、皆が知っていたからである。                       |   |
| S 使徒言行録  | 16:20 そして、二人を高官たちに引き渡してこう言った。「この者たちはユダヤ人で、わたしたちの町を混乱させておりませう。   |   |
| S 使徒言行録  | 17:1 パウロとシラスは、アンフィポリスとアポロニアを経てテサロニケに着いた。ここにはユダヤ人の会堂があった。  |   |
| S 使徒言行録  | 17:2 パウロはいつものように、ユダヤ人の集まっているところへ入って行き、三回の安息日にわたって聖書を引用して論じ合い、   |   |
| S 使徒言行録  | 17:5 しかし、ユダヤ人たちはそれをねたみ、広場にたむろしているならず者を何人か抱き込んで暴動を起こし、町を混乱させ、ヤソンの家を襲い、二人を民衆の前に引き出そうとして捜した。                 |   |
| S 使徒言行録  | 17:10 兄弟たちは、直ちに夜のうちにパウロとシラスをベレアへ送り出した。二人はそこへ到着すると、ユダヤ人の会堂に入った。  |   |
| S 使徒言行録  | 17:11 このユダヤ人たちは、テサロニケのユダヤ人よりも素直で、非常に熱心に御言葉を受け入れ、そのとおりにかどうか、毎日、聖書を調べていた。                                   |   |
| S 使徒言行録  | 17:13 ところが、テサロニケのユダヤ人たちは、ベレアでもパウロによって神の言葉が宣べ伝えられていることを知ると、そこへも押しかけて来て、群衆を扇動し騒がせた。                         |   |
| S 使徒言行録  | 17:17 それで、会堂ではユダヤ人や神をあがめる人々と論じ、また、広場では居合わせた人々と毎日論じ合っていた。  |   |
| S 使徒言行録  | 18:2 ここで、ポントス州出身のアキラというユダヤ人とその妻プリスキラに出会った。クラウディウス帝が全ユダヤ人をローマから退去させるようにと命令したので、最近イタリアから来たのである。パウロはこの二人を訪ね、 |   |
| S 使徒言行録  | 18:4 パウロは安息日ごとに会堂で論じ、ユダヤ人やギリシア人の説得に努めていた。   |   |
| S 使徒言行録  | 18:5 シラスとテモテがマケドニア州からやって来ると、パウロは御言葉を語ることに専念し、ユダヤ人に対してメシアはイエスであると力強く証した。                                   |   |
| S 使徒言行録  | 18:12 ガリオンがアカイア州の地方総督であったときのことである。ユダヤ人たちが一団となってパウロを襲い、法廷に引き立てて行って、  |   |
| S 使徒言行録  | 18:14 パウロが話し始めようとしたとき、ガリオンはユダヤ人に向かって言った。「ユダヤ人諸君、これが不正な行為とか悪質な犯罪とかであるならば、当然諸君の訴えを受理するが、                    |   |
| S 使徒言行録  | 18:19 一行がエフェソに到着したとき、パウロは二人をそこに残して自分だけ会堂に入り、ユダヤ人と論じ合った。   |   |
| S 使徒言行録  | 18:24 さて、アレクサンドリア生まれのユダヤ人で、聖書に詳しいアポロという雄弁家が、エフェソに来た。  |   |
| S 使徒言行録  | 18:28 彼が聖書に基づいて、メシアはイエスであると公然と立証し、激しい語調でユダヤ人たちを説き伏せたからである。  |   |

| タイトル(書名) | 章:節 聖句 [検索対象総数: 199 / 聖句等の総数 33250 (ユダヤ人)217個]   | 聖書Navi Active 393128091<br>(新共同訳)<br>[検索語彙: ユダヤ人] |
|----------|--|---|
| S 使徒言行録  | 19:10 このようなことが二年も続いたので、アジア州に住む者は、ユダヤ人であれギリシア人であれ、だれもが主の言葉を聞くことになった。  |   |
| S 使徒言行録  | 19:13 ところが、各地を巡り歩くユダヤ人の祈禱師たちの中にも、悪霊どもに取りつかれている人々に向かい、試みに、主イエスの名を唱えて、「パウロが宣べ伝えているイエスによって、お前たちに命じる」と言う者があった。 |   |
| S 使徒言行録  | 19:14 ユダヤ人の祭司長スケワという者の七人の息子たちがこんなことをしていた。  |   |
| S 使徒言行録  | 19:17 このことがエフェソに住むユダヤ人やギリシア人すべてに知れ渡ったので、人々は皆恐れを抱き、主イエスの名は大いにあがめられるようになった。                                  |   |
| S 使徒言行録  | 19:33 そのとき、ユダヤ人が前へ押し出したアレクサンドロという男に、群衆の中のある者たちが話すように促したので、彼は手で制し、群衆に向かって弁明しようとした。                          |   |
| S 使徒言行録  | 19:34 しかし、彼がユダヤ人であると知った群衆は一斉に、「エフェソ人のアルテミスは偉い方」と二時間ほども叫び続けた。   |   |
| S 使徒言行録  | 20:3 そこで三か月を過ごした。パウロは、シリア州に向かって船出しようとしていたとき、彼に対するユダヤ人の陰謀があったので、マケドニア州を通過して帰ることにした。                         |   |
| S 使徒言行録  | 20:19 すなわち、自分を全く取るに足りない者と思ひ、涙を流しながら、また、ユダヤ人の数々の陰謀によってこの身にふりかかってきた試練に遭いながらも、主にお仕えしてきました。                    |   |
| S 使徒言行録  | 20:21 神に対する悔い改めと、わたしたちの主イエスに対する信仰とを、ユダヤ人にもギリシア人にも力強く証してきたのです。  |   |
| S 使徒言行録  | 21:11 そして、わたしたちのところにきて、パウロの帯を取り、それで自分の手足を縛って言った。「聖霊がこうお告げになっている。『エルサレムでユダヤ人は、この帯の持ち主をこのように縛って異邦人の手に引き渡す。』」 |   |
| S 使徒言行録  | 21:20 これを聞いて、人々は皆神を賛美し、パウロに言った。「兄弟よ、ご存じのように、幾万人ものユダヤ人が信者になって、皆熱心に律法を守っています。                                |   |
| S 使徒言行録  | 21:21 この人たちがあなたについて聞かされているところによると、あなたは異邦人の間にいる全ユダヤ人に対して、『子供に割礼を施すな。慣習に従うな』と言って、モーセから離れるように教えているとのことですよ。    |   |
| S 使徒言行録  | 21:27 七日の期間が終わろうとしていたとき、アジア州から来たユダヤ人たちが神殿の境内でパウロを見つけ、全群衆を扇動して彼を捕らえ、  |   |
| S 使徒言行録  | 21:39 パウロは言った。「わたしは確かにユダヤ人です。キリキア州のれっきとした町、タルソスの市民です。どうか、この人たちに話をさせてください。」                                 |   |
| S 使徒言行録  | 22:3 「わたしは、キリキア州のタルソスで生まれたユダヤ人です。そして、この都で育ち、ガマリエルのもとで先祖の律法について厳しい教育を受け、今日の皆さんと同じように、熱心に神に仕えていました。          |   |
| S 使徒言行録  | 22:12 ダマスコにはアナニアという人がいました。律法に従って生活する信仰深い人で、そこに住んでいるすべてのユダヤ人の中で評判の良い人でした。                                   |   |
| S 使徒言行録  | 22:30 翌日、千人隊長は、なぜパウロがユダヤ人から訴えられているのか、確かなことを知りたいと思ひ、彼の鎖を外した。そして、祭司長たちと最高法院全体の召集を命じ、パウロを連れ出して彼らの前に立たせた。      |   |
| S 使徒言行録  | 23:12 夜が明けると、ユダヤ人たちは陰謀をたくらみ、パウロを殺すまでは飲み食ひしないという誓いを立てた。   |   |
| S 使徒言行録  | 23:20 若者は言った。「ユダヤ人たちは、パウロのことをもっと詳しく調べるという口実で、明日パウロを最高法院に連れて来るようにと、あなたに願ひ出ることに決めています。                       |   |
| S 使徒言行録  | 23:27 この者がユダヤ人に捕らえられ、殺されようとしていたのを、わたしは兵士たちを率いて救い出しました。ローマ帝国の市民権を持つ者であることが分かったからです。                         |   |
| S 使徒言行録  | 23:29 ところが、彼が告発されているのは、ユダヤ人の律法に関する問題であって、死刑や投獄に相当する理由はないことが分かりました。   |   |

| タイトル(書名) | 章:節 聖句 [検索対象総数: 199 / 聖句等の総数 33250 <ユダヤ人>217個]   | 聖書Navi Active 393128091<br>(新共同訳)<br>[検索語彙: ユダヤ人] |
|----------|--|---|
| S 使徒言行録  | 24:5 実は、この男は疫病のような人間で、世界中のユダヤ人の間に騒動を引き起こしている者、『ナザレ人の分派』の主謀者であります。  |   |
| S 使徒言行録  | 24:9 他のユダヤ人たちもこの告発を支持し、そのとおりであると申し立てた。   |   |
| S 使徒言行録  | 24:19 ただ、アジア州から来た数人のユダヤ人はいました。もし、私を訴えるべき理由があるというのであれば、この人たちこそ閣下のところに出頭して告発すべきだったのです。   |   |
| S 使徒言行録  | 24:24 数日の後、フェリクスはユダヤ人である妻のドルシラと一緒に来て、パウロを呼び出し、キリスト・イエスへの信仰について話を聞いた。   |   |
| S 使徒言行録  | 24:27 さて、二年たって、フェリクスの後任者としてポルクウス・フェストゥスが赴任したが、フェリクスは、ユダヤ人に気に入られようとして、パウロを監禁したままにしておいた。   |   |
| S 使徒言行録  | 25:2 -3 祭司長たちやユダヤ人のおもだった人々は、パウロを訴え出て、彼をエルサレムへ送り返すよう計らっていただきたいと、フェストゥスに頼んだ。途中で殺そうと陰謀をたくらんでいたのである。                                 |   |
| S 使徒言行録  | 25:7 パウロが出廷すると、エルサレムから下って来たユダヤ人たちが彼を取り囲んで、重い罪状をあれこれ言い立てたが、それを立証することはできなかった。  |   |
| S 使徒言行録  | 25:8 パウロは、「私は、ユダヤ人の律法に対しても、神殿に対しても、皇帝に対しても何も罪を犯したことはありません」と弁明した。   |   |
| S 使徒言行録  | 25:9 しかし、フェストゥスはユダヤ人に気に入られようとして、パウロに言った。「お前は、エルサレムに上って、そこでこれらのことについて、わたしの前で裁判を受けたいと思うか。」   |   |
| S 使徒言行録  | 25:10 パウロは言った。「私は、皇帝の法廷に出頭しているのですから、ここで裁判を受けるのが当然です。よくご存じのとおり、私はユダヤ人に対して何も悪いことをしていません。」  |   |
| S 使徒言行録  | 25:15 わたしがエルサレムに行ったときに、祭司長たちやユダヤ人の長老たちがこの男を訴え出て、有罪の判決を下すように要求したのです。  |   |
| S 使徒言行録  | 25:24 そこで、フェストゥスは言った。「アグリッパ王、ならびに列席の諸君、この男を御覧なさい。ユダヤ人がこぞってもう生かしておくべきではないと叫び、エルサレムでもこの地でもわたしに訴え出ているのは、この男のことです。」                  |   |
| S 使徒言行録  | 26:2 「アグリッパ王よ、私がユダヤ人たちに訴えられていることすべてについて、今日、王の前で弁明させていただけるのは幸いですと思います。」   |   |
| S 使徒言行録  | 26:3 王は、ユダヤ人の慣習も論争点もみなよくご存じだからです。それで、どうか忍耐をもって、私の申すことを聞いてくださるよう、お願いいたします。  |   |
| S 使徒言行録  | 26:4 さて、私の若いころからの生活が、同胞の間であれ、またエルサレムの中であれ、最初のころからどうであったかは、ユダヤ人ならだれでも知っています。  |   |
| S 使徒言行録  | 26:7 私たちの十二部族は、夜も昼も熱心に神に仕え、その約束の実現されることを望んでいます。王よ、私はこの希望を抱いているために、ユダヤ人から訴えられているのです。  |   |
| S 使徒言行録  | 26:21 そのためにユダヤ人たちは、神殿の境内にいた私を捕らえて殺そうとしたのです。  |   |
| S 使徒言行録  | 28:17 三日の後、パウロはおもだったユダヤ人たちを招いた。彼らが集まって来たとき、こう言った。「兄弟たち、わたしは、民に対しても先祖の慣習に対しても、背くようなことは何一つしていないのに、エルサレムで囚人としてローマ人の手に引き渡されてしまいました。」 |   |
| S 使徒言行録  | 28:19 しかし、ユダヤ人たちが反対したので、わたしは皇帝に上訴せざるをえませんでした。これは、決して同胞を告発するためではありません。  |   |
| S 使徒言行録  | 28:21 すると、ユダヤ人たちが言った。「私どもは、あなたのことについてユダヤから何の書面も受け取ってはおりませんし、また、ここに来た兄弟のだれ一人として、あなたについて何か悪いことを報告したことも、話したこともありませんでした。」            |   |
| S 使徒言行録  | 28:23 そこで、ユダヤ人たちは日を決めて、大勢でパウロの宿舎にやって来た。パウロは、朝から晩まで説明を続けた。神の国について力強く証しし、モーセの律法や預言者の書を引用して、イエスについて説得しようとしたのである。                    |   |

| タイトル(書名)        | 章:節 聖句 [検索対象総数: 199 / 聖句等の総数 33250 <ユダヤ人>217個]  | 聖書Navi Active 393128091<br>(新共同訳)<br>[検索語彙: ユダヤ人] |
|-----------------|---|---|
| S 使徒言行録         | 28:29 (†底本に節が欠落 異本訳)パウロがこのようにことを語ったところ、ユダヤ人たちは大いに論じ合いながら帰って行った。   |   |
| S ローマの信徒への手紙    | 1:16 わたしは福音を恥としない。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力だからです。   |   |
| S ローマの信徒への手紙    | 2:9 すべて悪を行う者には、ユダヤ人はもとよりギリシア人にも、苦しみと悩みが下り、  |   |
| S ローマの信徒への手紙    | 2:10 すべて善を行う者には、ユダヤ人はもとよりギリシア人にも、栄光と誉れと平和が与えられます。   |   |
| S ローマの信徒への手紙    | 2:17 ところで、あなたはユダヤ人と名乗り、律法に頼り、神を誇りとし、  |   |
| S ローマの信徒への手紙    | 2:28 外見上のユダヤ人がユダヤ人ではなく、また、肉に施された外見上の割礼が割礼ではありません。   |   |
| S ローマの信徒への手紙    | 2:29 内面がユダヤ人である者こそユダヤ人であり、文字ではなく“霊”によって心に施された割礼こそ割礼なのです。その誉れは人からではなく、神から来るのです。                                      |   |
| S ローマの信徒への手紙    | 3:1 では、ユダヤ人の優れた点は何か。割礼の利益は何か。   |   |
| S ローマの信徒への手紙    | 3:9 では、どうなのか。わたしたちには優れた点があるのでしょうか。全くありません。既に指摘したように、ユダヤ人もギリシア人も皆、罪の下にあるのです。   |   |
| S ローマの信徒への手紙    | 3:29 それとも、神はユダヤ人だけの神でしょうか。異邦人の神でもないのですか。そうです。異邦人の神でもあります。   |   |
| S ローマの信徒への手紙    | 9:24 神はわたしたちを憐れみの器として、ユダヤ人からだけでなく、異邦人の中からも召し出してくださいました。   |   |
| S ローマの信徒への手紙    | 10:12 ユダヤ人とギリシア人の区別はなく、すべての人に同じ主がおられ、御自分を呼び求めるすべての人を豊かにお恵みになるからです。  |   |
| S ローマの信徒への手紙    | 11:11 では、尋ねよう。ユダヤ人がつまずいたとは、倒れてしまったということなのか。決してそうではない。かえって、彼らの罪によって異邦人に救いをもたらされる結果になりましたが、それは、彼らにねたみを起こさせるためだったのです。  |   |
| S ローマの信徒への手紙    | 11:20 そのとおりです。ユダヤ人は、不信仰のために折り取られました。あなたは信仰によって立っています。思い上がってはなりません。むしろ恐れなさい。   |   |
| S コリント信徒への手紙 I  | 1:22 ユダヤ人はしるしを求め、ギリシア人は知恵を探しますが、  |   |
| S コリント信徒への手紙 I  | 1:23 わたしたちは、十字架につけられたキリストを宣べ伝えています。すなわち、ユダヤ人にはつまずかせるもの、異邦人には愚かなものですが、   |   |
| S コリント信徒への手紙 I  | 1:24 ユダヤ人であろうがギリシア人であろうが、召された者には、神の力、神の知恵であるキリストを宣べ伝えているのです。  |   |
| S コリント信徒への手紙 I  | 9:20 ユダヤ人に対しては、ユダヤ人のようになりました。ユダヤ人を得るためです。律法に支配されている人に対しては、わたし自身はそうではないのですが、律法に支配されている人のようになりました。律法に支配されている人を得るためです。 |   |
| S コリント信徒への手紙 I  | 10:32 ユダヤ人にも、ギリシア人にも、神の教会にも、あなたがたは人を惑わす原因にならないようにしなさい。  |   |
| S コリント信徒への手紙 I  | 12:13 つまり、一つの霊によって、わたしたちは、ユダヤ人であろうとギリシア人であろうと、奴隷であろうと自由な身分の者であろうと、皆一つの体となるために洗礼を受け、皆一つの霊をのませてもらったのです。               |   |
| S コリント信徒への手紙 II | 11:24 ユダヤ人から四十に一つ足りない鞭を受けたことが五度。  |   |

| タイトル(書名)         | 章:節 聖句 [検索対象総数: 199 / 聖句等の総数 33250 <ユダヤ人>217個]   | 聖書Navi Active 393128091<br>(新共同訳)<br>[検索語彙: ユダヤ人] |
|------------------|--|---|
| S ガラテヤの信徒への手紙    | 2:13 そして、ほかのユダヤ人も、ケファと一緒にこのような心にもないことを行い、バルナバさえも彼らの見せかけの行いに引きずり込まれてしまいました。   |   |
| S ガラテヤの信徒への手紙    | 2:14 しかし、わたしは、彼らが福音の真理にのっかってまっすぐ歩いていないのを見たとき、皆の前でケファに向かってこう言いました。「あなたはユダヤ人でありながら、ユダヤ人らしい生き方をしないで、異邦人のように生活しているのに、どうして異邦人にユダヤ人のように生活することを強要するのですか。」 |   |
| S ガラテヤの信徒への手紙    | 2:15 わたしたちは生まれながらのユダヤ人であって、異邦人のような罪人ではありません。   |   |
| S ガラテヤの信徒への手紙    | 3:28 そこではもはや、ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由な身分の者もなく、男も女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです。  |   |
| S コロサイの信徒への手紙    | 3:11 そこには、もはや、ギリシア人とユダヤ人、割礼を受けた者と受けていない者、未開人、スキタイ人、奴隷、自由な身分の者の区別はありません。キリストがすべてであり、すべてのもののうちにおられるのです。  |   |
| S テサロニケの信徒への手紙 I | 2:14 兄弟たち、あなたがたは、ユダヤの、キリスト・イエスに結ばれている神の諸教会に倣う者となりました。彼らがユダヤ人たちから苦しめられたように、あなたがたもまた同胞から苦しめられたからです。  |   |
| S テサロニケの信徒への手紙 I | 2:15 ユダヤ人たちは、主イエスと預言者たちを殺したばかりでなく、わたしたちをも激しく迫害し、神に喜ばれることをせず、あらゆる人々に敵対し、  |   |
| S テトスへの手紙        | 1:14 ユダヤ人の作り話や、真理に背を向けている者の掟に心を奪われないようにさせなさい。  |   |
| S ヨハネの黙示録        | 2:9 「わたしは、あなたの苦難や貧しさを知っている。だが、本当はあなたは豊かなのだ。自分はユダヤ人であると言う者どもが、あなたを非難していることを、わたしは知っている。実は、彼らはユダヤ人ではなく、サタンの集いに属している者どもである。                            |   |
| S ヨハネの黙示録        | 3:9 見よ、サタンの集いに属して、自分はユダヤ人であると言う者たちには、こうしよう。実は、彼らはユダヤ人ではなく、偽っているのだ。見よ、彼らがあなたの足もとに来てひれ伏すようにし、わたしがあなたを愛していることを彼らに知らせよう。                               |   |